

## 郡山市ひとり親世帯等意向調査にかかる分析（中間報告から）

## 1 数値調査について

## (1) 世帯の状況

- ①年齢：「40代」が42.42%と最も高く、「30代」、「40代」を合わせると約80%となっています。
- ②ひとり親になった理由：「離婚」が86.46%、「未婚・非婚」が10.31%となっています。
- ③最終学歴：「高校」が52.37%と最も高くなっています。「短大」、「大学」、「大学院」、「専修学校・各種学校」の高校以上に進学した割合は36.30%となっています。
- ④困っていること：「家計」が45.60%と最も高く、次いで「自身の健康」10.07%となっています。
- ⑤悩み事を相談する相手：「友人・知人」が44.01%と最も高く、次いで「親族」が42.88%となっています。

## (2) 子どもの状況

- ①小学生がいる割合：29.52%と最も高く、小学校就学前の子どもがいる割合は16.60%となっています。
- ②子どもに関する悩み：小学校入学前の子どもの場合は「特にない」が39.87%と最も高く、小学校以上の子どもの場合は「教育・進路」の割合が31.39%と最も高くなっています。
- ③病気等のとき、子どもや自身の身の回りの世話を誰に頼むか：「あなたの親（別居）」が33.25%と最も高く、次いで「あなたの親（同居）」が31.04%となっており、自身の親に頼む割合が約65%となっています。
- ④子どもに期待する最終学歴：「大学」が41.76%と最も高く、「高専・専門学校」「短大」、「大学」、「大学院」を合わせると約64%となっています。

## (3) 住まいの状況

- ①住まいの形態：「借家・アパート・賃貸マンション」が41.58%と最も高く、次いで、「持ち家（一戸建・マンション）」が20.31%となっています。
- ②必要と考える住まいの支援：「民間賃貸住宅への家賃補助」が64.29%と最も高く「公営住宅への優先入居」が10.61%となっています。  
また、住まいを「借家・アパート・賃貸マンション」と回答した人の中で、住まいの支援を「民間賃貸住宅への家賃補助」と回答した人の割合：80.84%となっています。

#### (4) 就労の状況

- ①現在の働き方：「働いている」が86.22%、「無職」が8.75%となっています。
- ②就労形態：「正社員・正職員」が43.44%、「パート・アルバイト」が26.06%、「派遣社員・契約社員」が12.76%となっています。
- ③働いていない理由：「病気や怪我」が29.27%、「条件に合う仕事が見つからない」28.78%、「子どもの預け先が見つからない」が9.27%となっています。
- ④現在の就労形態を「正社員・正職員」と回答した人の中で、ひとり親になる前の就労形態を「正社員・正職員」と回答した人の割合：50.49%となっています。
- ⑤就労形態が「正社員・正職員」のうち、仕事への悩みや不安において「給料が少ない」と回答した人の割合：49.10%となっています。

#### (5) 収入の状況

- ①総収入：「100万円～200万円未満」が37.93%、「200万円～300万円未満」が29.12%となっており、「100万円未満」を合わせると約80%となっています。
- ②世帯の収入の種類：「給与収入」、「児童扶養手当」、「児童手当」の3項目が高い割合となっています。
- ③家計で増えている費用：「食費」27.36%、「子どものための教育費」25.80%、「育児費」16.24%となっており、「子どものための教育費」「育児費」を合わせると約33%となっています。

#### (6) 養育費の状況

- ①養育費：「現在も定期的に受け取っている」が24.81%、「現在、定期的ではないが、時々受け取っている」が4.44%であり、「何年間か受け取っていたが、現在は受け取っていない」が9.56%、「最初から全く受け取っていない」が57.17%となっており、全体として養育費が支払われている割合（「現在も定期的に受け取っている」、「現在、定期的ではないが、時々受け取っている」）は29.25%となっています。
- ②養育費の取決めをしていない理由：「相手と関わりたくなかった」が34.86%、次いで「相手に支払う意思や能力がないと思った」が30.85%となっています。
- ③養育費に関して「取決めをしていない」と回答した人のうち、養育費の取決めについて「相談していない」と回答した割合は57.45%となっています。

#### (7) 面会交流の状況

- ①面会交流：「月2回以上」が7.88%、「月1回程度」が23.84%、「2～3か月に1回程度」が10.51%、「半年に1回程度」が6.46%、「1年に1回程度」が4.44%となっており、「面会交流の取決めをした」人の中の約46%となっています。
- ②面会交流の取決めをしていない理由：「相手と関わりたくなかった」が39.23%、次い

で「相手が養育費を支払わないから」が16.23%となっています。

- ③面会交流に関して、「取決めをしていない」と回答した人のうち、面会交流について「相談していない」と回答した割合は64.98%となっています。

#### (8) ひとり親家庭支援制度の状況

- ①ひとり親家庭への支援情報についての入手方法：「市の広報紙」が20.96%、「市のホームページ」が18.32%となっています
- ②知っている・利用したことがあるひとり親世帯に関する各種制度や相談機関等：「児童扶養手当・ひとり親家庭医療費助成」、「就学援助制度」以外は10%未満となっています。
- ③充実を望む支援策：「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が23.49%と最も高く、次いで「住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」が19.66%となっています。
- ④市の相談窓口が相談しやすくなる方法：「土日・祝日に相談できる」が33.67%と最も高く、次いで「一箇所でいろいろな相談ができる」が21.63%となっています。

## 2 市（行政）に対する意見・要望について

先に示したように、自由記載欄においても「経済的支援」、「健康問題」、「住宅支援」「相談支援体制」について意見が多く寄せられています。

### (1) 経済的支援（抜粋）

- ①『世帯が別でも同一住所に親族が住んでいるだけで全員の収入でまとめられてしまい親族から支援を受けていなくても児童扶養手当が全額支給停止のため、母子家庭としての支援に満足できない。』
- ②『正社員で働かないと生きていけない。子育てに不安とやり切れなさを感じる時、少しの時間でも子供と一緒にといわれるが、きっと子供はその都度気持ちの変化もあり、100%満たされると考えられない時がある。もう少し一緒にいてあげたい、その時間が残業であったり夜勤であったり、不安定な時に一緒にいてやれない。やり切れない時が多い。子供も大きくなって反抗することも多く、悩む事も多い。』
- ③『中学までは教育費に対する支援がある程度充実していますが、高校への進学以降は支援制度が少ないうえに分かりにくい。（通学用の定期代は特に負担が大きいです。そのために進学を自宅の近くにあきらめる子供もいる）学びたい子供をもっと支援できるように高等教育の費用負担が軽くなるようにしてほしいです。』
- ④『資格やスキルアップしたくても収入と時間があって何もできない。母子家庭のお母さんを資格がなくても正社員で採用してほしい。』

## (2) 健康問題 (抜粋)

- ① 『障がい児と高齢の親と仕事の両立は大変です。長い時間働いて生活に余裕を持ちたいが、今の仕事はパートなので収入も少なく、自分自身も病院通いをして体を悪くすると前が見えなくなります。』
- ② 『離婚をしてから子供が泣くことが多くなったのですが、離婚で子供に負担をかけていないか不安です。』
- ③ 『仕事がいつまでやれるのかという不安が一番あります。まだまだ年金ももらえないし昨日友達が仕事中に倒れました。』

## (3) 住宅支援 (抜粋)

- ① 『民間賃貸住宅の家賃補助制度等があれば助かります。状況によっては市営、県営住宅が難しい(親の介護等があると)となると民間で借りる様になってしまうので。』
- ② 『家賃アパートの家賃補助があるといいです。実家から出たいのですがアパート代が払えないのでなかなか実家から出られません。』
- ③ 『家賃の補助が必要だと思います。全員ではなくても所得に応じた補助があれば』

## (4) 相談支援体制 (抜粋)

- ① 『相談窓口があっても小さいお子さんがいらっしゃる方向けの様な気がします。それはそれで大変ですが、大きくなればそれなりの悩みが出てきます。子どもの低学歴は避けたいのが本音です。もっと気軽に相談(ネット等)できる所がほしいです。』
- ② 『ひとり親世帯の情報や活用方法をアプリケーションから自分があてはまる支援が分かりやすく選別できるものがあると良い。例えば自分の家族や収入状態を入力することで利用できる制度が出てくるなど』
- ③ 『ひとり親で子供も障害児なので将来が不安。相談場所もそれぞれ違うので1つの場所で相談できるようにしてほしい。』
- ④ 『知らない制度が多いので、手続きの時に案内をしてほしい。書面で案内が届くが、分からないことが多い。』
- ⑤ 『同じような不安をもっているひとり親の知り合いがいないので、交流の機会をもっとたくさんもうけてほしいです。仕事や、家庭の事情で参加できる時間、日程バラバラだと思うので、いろんな曜日、時間で開催してほしいなと思います。』